

新春特集

トラック運送業界とSDGs

エスディージーズ

第3回

持続可能なトラック運送業界の実現を目指して (株)長野トランスポートのSDGs推進への取り組み

『広報とらつく』では新春特集としてSDGs(持続可能な開発目標)の紹介と、トラック運送業界の関わり方などについて紹介しています。今回は、福岡県朝倉市の(株)長野トランスポート(長野)代表取締役、2回にわたり、運送事業者におけるの取り組みを紹介します。

運送事業者がSDGsに取り組む理由とは

「安全性の高さを知ってもらいたい」 SDGsへの行動が正当な評価に繋がる



長野 田代 代表取締役



長野 啄田 取締役常務

「トラック運送業界の安全性をもっと多くの人に知ってもらいたい」という強い思いがあったという。

福岡県朝倉市に本社を構える(株)長野トランスポートは、福岡県のほか大分県、熊本県、宮崎県、鹿児島県にも営業所を置き、九州を中心に様々な一般貨物や建設資材などの輸送を行う運送会社である。

長野社長がSDGsについて初めて知ったのは、令和2年のことである。知り合いの同業他社の経営者に、SDGsの17のゴールに合わせてデザインされた丸いバッジ(SDGsカラーホイールバッジ)を標榜していた人がおり、その人からSDGsについて教えてもらったのがきっかけという。

長野社長が社に戻る001取得を決めたのは、



SDGsのアイコンを示したパネルを手に笑顔を見せる長野社長(写真左)と長野常務

て事業を続けてきました。野社長

一般の方々には安全性の高いトラック運送業界のことをもっと深く知ってもらいたい、そして当社の取り組みを正当に評価していただきたく、社会をより良くしていきたいとの強い思いから、SDGsへの取り組みを進めていくことを決めました(長野)。

運送事業者におけるSDGs推進への取り組み①

女性が活躍できるジェンダーレスな職場へ 「労働環境改善」で健康起因事故根絶を図る

「今から30年ほど前に放送されたテレビドラマ『101回目のプロポーズ』(フジテレビ系)の中で、再び恋人を失うことを怖いと告白する女性の前で、主人公の男性がダンパーの前に突如飛び出し、間髪を容れずダンパーが目の前で止まる。僕は死にまじえんからあー!と絶叫するシーンがありました。私はそれを見て、『トラックは人の命を奪う、危険なものだ』と、多くの人が感じたのではないかと感じました。家族がトラック運送業界に転職しようとしていて、その親やパートナーがトラック運送業界は事故が付き物で危険だからと転職を止めさせるケースも少なくありません。しかし、トラックは人の命を奪うためのものではなく、私たちの日常生活を支えてくれる大切な存在なのではないでしょうか。『トラックは危険だ』という偏見を変え、一般の方々に私たちの業界を正當に評価していただきたいの思いで、安全性の高い輸送品質を証明するISO9001の取得を決めました。それに続いて、25年には安全性優良事業所認定を取得し、『Gマーク認定事業者』とし

①「女性が活躍する運送会社」(開発目標...「ジェンダー」)、「開発目標8...経済成長と雇用」生産年齢人口の減少に伴い、トラックドライバー不足が深刻なものとなっている。労働力不足の解消を図るために、トラック運送業界では女性活躍促進に向けた取り組みが進められているものの、トラックドライバーに占める女性の比率はわずかに2%程度に留まっているのが現状である。

同社では、職場環境の整備を通じて男社会とい



同社には、現在5人の女性ドライバーをはじめ、合計16人の女性従業員が在籍している

- 図1 女性の活躍推進に関する主な取り組み内容
- ・女性に適した、自主荷役(力仕事)のない配送業務の確保
 - ・ハラスメント相談窓口の設置
 - ・男性従業員に対し、女性従業員との適切な距離感や接し方等の指導
 - ・産休・育休制度の導入
 - ・女性専用トイレの設置
 - ・女性の管理職への登用の積極実施

さらに、同社では現在、

②「安全と健康第一の企業経営」(開発目標3...「保健」)トラックによる健康起因事故件数は、平成25年の39件に比べ、平成30年には98件、令和元年には77件と大きく増加しており、近年健康起因事故が増加傾向にある。また、トラック運送業

九州内に6営業所を構えているが、各営業所に1人以上女性従業員が配置されていることから、同社の6営業所全てに女性専用トイレが完備されている。

さらに、女性従業員のキャリアアップを促す観点から、同社では女性従業員の管理職登用も積極的に進めている。現在では、本社執行役員のほか、4人の管理職がいるほか、営業所に勤めている管理職候補の多くも女性である。

同社では、ドライバーとして入社し、出産・子育てを経て復職し、業務経験を重ねて管理職に就くという、女性従業員のキャリアパスが明確になっている。そうしたこともあって、同社で長期間継続して勤務する女性従業員も多く、現在では30代、40代の女性従業員が多く活躍している。

また、同社では現在、

界では過重な仕事の原因で脳・心臓疾患を発症し、過労死に至ってしまうケースも少なくないことから、運送事業者にとっては安全管理と同等に、乗務員に対する健康管理への取り組み強化も大きな課題となっている。

同社では、「運行管理」、「労務管理」、「法定健診」の3点から、ドライバーのみならず全従業員の健康状態を管理・把握し、健康起因事故ゼロを目標に様々な活動を推進している。

- 図2 従業員の健康管理に関する主な取り組み内容**
- ・労働・残業時間の是正のため、法令を遵守した適切な運行を行えるように、荷主や協力企業への交渉の実施
 - ・自社でトレーニングジムを保有
 - ・健康診断受診率・再検査受診率100%
 - ・健康に関する社内研修の実施と健康に関する情報の掲示
 - ・全事業所に水素水生成器の設置

「ドライバーの健康を維持しながら安全な輸送を継続していくためには、ドライバーの拘束時間削減をはじめとした労働環境の改善が欠かせません。当社では荷主に対して、『お客様と当社のお互いの協力があることで、労働を未然に防ぐことも、荷待ち時間の少ない効率的な輸送を推進すること、ドライバーの拘束時間を削減していくことである。同社では、適切な運行を実施していくために荷主との交渉を進め、長時間労働解消へと繋いでいる。



また、法定健診の面では、従業員の健康診断受診率・再検査受診率は100%と高い水準を維持している。また、丸太の形を整える際に発生する端材についても、ごみとして廃棄せず、冬季暖房用の木材として再利用することで、資源の有効活用にも繋がっている。

また、丸太の形を整える際に発生する端材についても、ごみとして廃棄せず、冬季暖房用の木材として再利用することで、資源の有効活用にも繋がっている。

また、丸太の形を整える際に発生する端材についても、ごみとして廃棄せず、冬季暖房用の木材として再利用することで、資源の有効活用にも繋がっている。

運送事業者におけるSDGs推進への取り組み②

災害流木を活用して「循環型社会」を目指す 法令遵守のために荷主との交渉続ける

③「ピンチをチャンスに変える企業へ」(開発目標11・持続可能な都市)、「開発目標12・持続可能な消費と生産」

同社では、自然災害で生じた災害流木を利用して、大鋸屑(ルビ)や小鋸屑(ルビ)の自社製造・販売を手がけている。同社における災害流木の活用に関する主な取り組み内容は、図3の通りである。



同社が大鋸屑や鋸屑の自社製造・販売を手がけているように、地元朝倉市のひとつが、地元朝倉市に

- 図3 災害流木の活用に関する主な取り組み内容**
- ・産業廃棄物収集業者や森林組合、その他材木関係の企業に声をかけ、可能なだけの災害流木の受け入れ実施
 - ・受け入れた災害流木の加工(皮剥ぎ・洗浄)を行い、大鋸屑を製造し、食品事業者や畜産関係で使用される敷床用に供給

- 図4 魅力的な物流企業の実現に関する主な取り組み内容**
- ・国土交通省が令和2年に作成した標準的な運賃表を用いて、運賃交渉を行いながらの運賃の適正化
 - ・荷主を巻き込みながら、運行経路の再設定や待機時間の削減を進め、業務の効率化を図り、労働時間を削減
 - ・「働きやすい職場認証制度」最上位である「3つ星」の取得に向けた社内改革
 - ・エコドライブを継続的に実施
 - ・業務の標準化を図り、ドライバーにとって有給休暇を取得しやすい環境の整備
 - ・月に1度安全会議を開催し、事故防止に取り組む
 - ・保有車両全車にデジタルタコグラフおよびドライブレコーダーを搭載。安心・安全な運行で業務が進められるように環境を整備

「かつては災害流木の処理方法が確立されていなかったため、災害流木を火力発電所に輸送し、燃やすことが多かった。しかし、良質な畜産物の生産に欠かすことのできない高品質な大鋸屑を、畜産業者や酪農業者が手にすることができなくなりました。また、木材を燃やすことで、二酸化炭素の排出量が増え、炭素の排出量が削減されています。災害流木を資源として生まれ変わらせ、地域の中で活用していくことで、貴重な資源

「これは、今の運送業界が抱える「3K(きつい・汚い・危険)」のイメージを払拭し、トラック運送業界を魅力ある業界とするために、トラックドライバーの労働環境改善の実現に向けて精力的に取り組んでいます。また、本社同社における魅力的な物流企業の実現に関する主な取り組み内容は、図4の通りです。

「これまで取引のなかっ

企業プロフィール

社名	株長野トランスポート
本社所在地	福岡県朝倉市宮野2145
代表者	代表取締役 長野 臣巳
設立	昭和60年3月20日
資本金	1,000万円
社員数	85人(うちドライバー65人)
車両数	86台

また、既存荷主との交渉の際にも、SDGsへの取り組みは有効に働いていると、長野社長は語ります。

「運送事業者の経営を継続可能なものにしていくためには、運送事業者が適正な運賃・料金を取り、職場環境改善への取り組みを一段と加速させていくことが必要です」(長野社長)

また、既存荷主との交渉の際にも、SDGsへの取り組みは有効に働いていると、長野社長は語ります。

また、既存荷主との交渉の際にも、SDGsへの取り組みは有効に働いていると、長野社長は語ります。

また、既存荷主との交渉の際にも、SDGsへの取り組みは有効に働いていると、長野社長は語ります。

また、丸太の形を整える際に発生する端材についても、ごみとして廃棄せず、冬季暖房用の木材として再利用することで、資源の有効活用にも繋がっている。

また、丸太の形を整える際に発生する端材についても、ごみとして廃棄せず、冬季暖房用の木材として再利用することで、資源の有効活用にも繋がっている。

また、丸太の形を整える際に発生する端材についても、ごみとして廃棄せず、冬季暖房用の木材として再利用することで、資源の有効活用にも繋がっている。

また、丸太の形を整える際に発生する端材についても、ごみとして廃棄せず、冬季暖房用の木材として再利用することで、資源の有効活用にも繋がっている。

また、丸太の形を整える際に発生する端材についても、ごみとして廃棄せず、冬季暖房用の木材として再利用することで、資源の有効活用にも繋がっている。

また、丸太の形を整える際に発生する端材についても、ごみとして廃棄せず、冬季暖房用の木材として再利用することで、資源の有効活用にも繋がっている。

また、丸太の形を整える際に発生する端材についても、ごみとして廃棄せず、冬季暖房用の木材として再利用することで、資源の有効活用にも繋がっている。

また、丸太の形を整える際に発生する端材についても、ごみとして廃棄せず、冬季暖房用の木材として再利用することで、資源の有効活用にも繋がっている。

また、丸太の形を整える際に発生する端材についても、ごみとして廃棄せず、冬季暖房用の木材として再利用することで、資源の有効活用にも繋がっている。

また、丸太の形を整える際に発生する端材についても、ごみとして廃棄せず、冬季暖房用の木材として再利用することで、資源の有効活用にも繋がっている。

また、丸太の形を整える際に発生する端材についても、ごみとして廃棄せず、冬季暖房用の木材として再利用することで、資源の有効活用にも繋がっている。

また、丸太の形を整える際に発生する端材についても、ごみとして廃棄せず、冬季暖房用の木材として再利用することで、資源の有効活用にも繋がっている。

また、丸太の形を整える際に発生する端材についても、ごみとして廃棄せず、冬季暖房用の木材として再利用することで、資源の有効活用にも繋がっている。

また、丸太の形を整える際に発生する端材についても、ごみとして廃棄せず、冬季暖房用の木材として再利用することで、資源の有効活用にも繋がっている。

また、丸太の形を整える際に発生する端材についても、ごみとして廃棄せず、冬季暖房用の木材として再利用することで、資源の有効活用にも繋がっている。

また、丸太の形を整える際に発生する端材についても、ごみとして廃棄せず、冬季暖房用の木材として再利用することで、資源の有効活用にも繋がっている。